

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7620835号
(P7620835)

(45)発行日 令和7年1月24日(2025.1.24)

(24)登録日 令和7年1月16日(2025.1.16)

(51)国際特許分類

F I

H 0 4 N 21/488(2011.01)

H 0 4 N 21/482(2011.01)

H 0 4 N 21/442(2011.01)

H 0 4 N 21/488

H 0 4 N 21/482

H 0 4 N 21/442

請求項の数 10 (全17頁)

(21)出願番号	特願2023-549461(P2023-549461)	(73)特許権者	314012076
(86)(22)出願日	令和4年9月7日(2022.9.7)		パナソニックIPマネジメント株式会社
(86)国際出願番号	PCT/JP2022/033507		大阪府門真市元町2番6号
(87)国際公開番号	WO2023/047953	(74)代理人	100109210
(87)国際公開日	令和5年3月30日(2023.3.30)		弁理士 新居 広守
審査請求日	令和6年2月2日(2024.2.2)	(74)代理人	100137235
(31)優先権主張番号	特願2021-154871(P2021-154871)		弁理士 寺谷 英作
(32)優先日	令和3年9月22日(2021.9.22)	(74)代理人	100131417
(33)優先権主張国・地域又は機関	日本国(JP)		弁理士 道坂 伸一
		(72)発明者	山口 聖貴
			日本国大阪府門真市大字門真1006番
			地 パナソニック株式会社内
		(72)発明者	上田 功
			日本国大阪府門真市大字門真1006番
			地 パナソニック株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づいて前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付されたランキングスコアを取得する取得部と、

ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴に基づいて、前記ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する嗜好出力部と、

前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれの前記嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する評価部と、

前記ランキングスコアと前記嗜好スコアとに基づいて、前記ユーザの嗜好に沿う前記複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する順序出力部と、を備える

情報処理装置。

【請求項2】

前記嗜好情報は、視聴者における複数種類の嗜好のそれぞれに対応する複数種類の嗜好タグの中から前記ユーザの嗜好に応じて選択される1以上の嗜好タグを含み、

前記評価部は、前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに対して付与された1以上の嗜好タグと、前記嗜好情報に含まれる1以上の嗜好タグとの一致度に基づいて、当該対象放送コンテンツの前記嗜好スコアを付与する

請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

出力された前記複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報に従って選択された、コ

ーザに提示するための１以上の対象放送コンテンツと共に、当該対象放送コンテンツの内容に関する情報と、取得された当該対象放送コンテンツの前記ランキングスコアに関する情報と、当該放送コンテンツに付与された嗜好タグのタグ情報であって、ユーザの前記嗜好情報との間で一致するタグ情報と、を含む画像を生成する図示化部を備える

請求項２に記載の情報処理装置。

【請求項４】

前記順序出力部は、前記ランキングスコアが高い順に並べた前記複数の対象放送コンテンツの順序のうち、前記嗜好スコアが第１閾値よりも高い対象放送コンテンツの順序を、元の順序よりも高い順序となるように更新する

請求項１～３のいずれか１項に記載の情報処理装置。

10

【請求項５】

前記順序出力部は、前記ランキングスコアが高い順に並べた前記複数の対象放送コンテンツの順序のうち、前記嗜好スコアが第２閾値よりも低い対象放送コンテンツの順序を、元の順序よりも低い順序となるように更新する

請求項１～３のいずれか１項に記載の情報処理装置。

【請求項６】

前記順序出力部は、前記ランキングスコアと前記嗜好スコアとに基づいて、総合スコアを算出し、算出した前記総合スコアが高い順に並べた前記複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する

請求項１～３のいずれか１項に記載の情報処理装置。

20

【請求項７】

前記総合スコアは、前記ランキングスコアに前記嗜好スコアを加算して算出される

請求項６に記載の情報処理装置。

【請求項８】

前記総合スコアは、前記ランキングスコアに前記嗜好スコアを乗じて算出される

請求項６に記載の情報処理装置。

【請求項９】

複数の対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づいて前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付されたランキングスコアを取得する取得ステップと、

ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴に基づいて、前記ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する嗜好出力ステップと、

前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれの前記嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する評価ステップと、

前記ランキングスコアと前記嗜好スコアとに基づいて、前記ユーザの嗜好に沿う前記複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する順序出力ステップと、を含む情報処理方法。

30

【請求項１０】

１以上のプロセッサに、

請求項９に記載の情報処理方法を実行させる

プログラム。

40

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本開示は、ユーザが視聴した放送コンテンツの視聴履歴からユーザの嗜好を推定するための情報処理装置、情報処理方法、及びプログラムに関する。

【背景技術】

【０００２】

特許文献１は、情報処理装置を開示している。この情報処理装置は、取得部と、解析部と、評価部と、視覚化部と、表示部と、を備える。取得部は、番組の番組情報（視聴率、番組説明、キーワード、放送開始時刻、終了時刻、出演者、番組の感想及びその数、番組

50

紹介情報の再利用の回数、番組 P 1 のオフィシャルサイトを介して受け付けたコメントの数、並びに利用履歴)を取得する。解析部は、番組情報を数値化する。評価部は、解析部による数値化により得られた数値に基づいて、番組を評価する。視覚化部は、評価部による評価結果をまとめて図式化する。表示部は、視覚化部により図示化された評価結果を提示する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【文献】特開 2006 - 60600 号公報

【発明の概要】

10

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本開示は、よりユーザの嗜好に沿った放送コンテンツの提示をしやすい情報処理装置等を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本開示の一態様に係る情報処理装置は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づいて前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付されたランキングスコアを取得する取得部と、ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴に基づいて、前記ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する嗜好出力部と、前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれの前記嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する評価部と、前記ランキングスコアと前記嗜好スコアとに基づいて、前記ユーザの嗜好に沿う前記複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する順序出力部と、を備える。

20

【0006】

本開示の一態様に係る情報処理方法は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づいて前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付されたランキングスコアを取得する取得ステップと、ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴に基づいて、前記ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する嗜好出力ステップと、前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれの前記嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを前記複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する評価ステップと、前記ランキングスコアと前記嗜好スコアとに基づいて、前記ユーザの嗜好に沿う前記複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する順序出力ステップと、を含む。

30

【0007】

本開示の一態様に係るプログラムは、1 以上のプロセッサに、前記情報処理方法を実行させる。

【発明の効果】

【0008】

本開示における情報処理システム等によれば、よりユーザの嗜好に沿った放送コンテンツの提示をしやすい、という利点がある。

40

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図 1】図 1 は、実施の形態における情報処理装置等の構成を示す概要図である。

【図 2】図 2 は、実施の形態における情報処理装置の処理の一例を示すフローチャートである。

【図 3】図 3 は、実施の形態において放送コンテンツに付与される嗜好スコアの一例を説明する図である。

【図 4】図 4 は、実施の形態において出力される順序に関する情報の一例を説明する図である。

50

【図 5】図 5 は、実施の形態において出力される順序に関する情報の別の一例を説明する図である。

【図 6】図 6 は、実施の形態において出力される順序に関する情報のさらに別の一例を説明する図である。

【図 7】図 7 は、実施の形態における放送コンテンツ情報、ランキングスコア及び嗜好情報を図示した画面の一例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 0 】

（本開示の基礎となった知見）

まず、発明者の着眼点が、下記に説明される。

10

【 0 0 1 1 】

地上波デジタル放送の普及、及び録画装置の高機能化等に伴い、ユーザは、放送コンテンツ（テレビジョン番組）をリアルタイムに視聴するだけでなく、ユーザの好きなタイミングで放送コンテンツを視聴することが可能となっている。また、据置型のテレビジョン受像機での放送コンテンツの視聴だけでなく、ユーザが所有するスマートフォン又はタブレット端末等の携帯端末でも放送コンテンツの視聴が可能となっており、ユーザが放送コンテンツを視聴可能な機会が更に多様化している。このような放送コンテンツの視聴可能な機会の多様化に伴い、ユーザが視聴可能な放送コンテンツは膨大な数となり得る。このため、ユーザは、多数の放送コンテンツの中から自分の嗜好に見合った放送コンテンツを選択して視聴することが難しくなっている。

20

【 0 0 1 2 】

そこで、ユーザが視聴した放送コンテンツの視聴履歴からユーザの嗜好を推定し、推定した嗜好に見合った放送コンテンツをユーザに推奨する試みが従来なされてきたが、視聴履歴を単純に利用するのみではユーザの嗜好を十分な精度で推定することが難しい、という問題がある。例えば、ユーザが特定の番組を視聴する頻度が高い、と仮定する。この場合、視聴履歴を単純に利用するのみであれば、特定の番組のジャンルをユーザの嗜好として推定すると考えられるが、実際にはユーザが特定の番組のジャンルではなく、特定の番組に含まれる一部のコンテンツのみを好んでいる場合もあり得る。

【 0 0 1 3 】

以上を鑑み、発明者は本開示を創作するに至った。

30

【 0 0 1 4 】

以下、適宜図面を参照しながら、各実施の形態を詳細に説明する。但し、必要以上に詳細な説明は省略する場合がある。例えば、既によく知られた事項の詳細説明や実質的に同一の構成に対する重複説明を省略する場合がある。これは、以下の説明が不必要に冗長になるのを避け、当業者の理解を容易にするためである。

【 0 0 1 5 】

なお、発明者は、当業者が本開示を十分に理解するために添付図面及び以下の説明を提供するのであって、これらによって請求の範囲に記載の主題を限定することを意図するものではない。

【 0 0 1 6 】

40

（実施の形態）

[1 . 構成]

以下、実施の形態における情報処理装置 1 0 0 及び情報処理装置 1 0 0 を利用した情報処理システムについて図 1 を用いて説明する。図 1 は、実施の形態における情報処理装置等の構成を示す概要図である。情報処理装置 1 0 0 は、ユーザが視聴した放送コンテンツの視聴履歴からユーザの嗜好を推定し、ユーザに対して視聴を推奨する複数の放送コンテンツの提示の順序を決定するための装置である。情報処理システムでは、情報処理装置 1 0 0 と併せて、タグ付与装置 1 5 0、コンテンツ記憶装置 2 0 0、及び、提示装置 3 0 0 が組み合わされることにより、放送コンテンツの中から、情報処理装置 1 0 0 によって推定されたユーザの嗜好に適合した順序で複数の放送コンテンツを提示することが可能とな

50

る。

【 0 0 1 7 】

実施の形態では、情報処理装置 1 0 0 は、放送コンテンツとしてのテレビジョン番組を録画する録画装置 2 に搭載されている。録画装置 2 は、テレビジョン受像機 3 に接続されており、ユーザの予約操作等に応じて、テレビジョン受像機 3 が受信するテレビジョン番組を録画可能である。なお、情報処理装置 1 0 0 は、テレビジョン番組を録画する録画機能を有するテレビジョン受像機に搭載されていてもよい。また、情報処理装置 1 0 0 は、例えばサーバに搭載されていてもよい。

【 0 0 1 8 】

実施の形態では、放送コンテンツは、地上波放送のテレビジョン番組であるが、これに限らず、B S (Broadcasting Satellites) 放送のテレビジョン番組、又は C S (Communication Satellites) 放送のテレビジョン番組等を含んでいてもよい。また、情報処理装置 1 0 0 が対象とする放送コンテンツは、テレビジョン放送のコンテンツに限らず、例えば動画共有サービスが提供するインターネット放送のコンテンツを含んでいてもよい。

【 0 0 1 9 】

情報処理装置 1 0 0 は、図 1 に示すように、取得部 1 1 と、嗜好出力部 1 3 と、評価部 1 5 と、順序出力部 1 7 と、図示化部 1 9 と、を備えている。

【 0 0 2 0 】

取得部 1 1 は、ユーザに視聴を推奨する提示の候補となる複数の対象放送コンテンツ（以下、単に放送コンテンツと表記する場合がある）のそれぞれにおけるランキングスコアを取得する。ここでいう「ランキングスコア」とは、各々の放送コンテンツの視聴回数に基づく、当該放送コンテンツの人気度の指標である。ランキングスコアは、例えば、地上波放送によって視聴がされた視聴（再生）回数、又は、全放送波の中で瞬間的に当該放送コンテンツを視聴している視聴者の割合（視聴率）の最高値である。また、ランキングスコアには、当該放送コンテンツが記録された光ディスク等の記録媒体の購入数、及び、記録媒体貸し出しサービスを利用した当該記録媒体の貸し出し回数が加味されてもよいし、いわゆるオンデマンド配信サービスなどを利用して当該放送コンテンツが視聴（再生）された回数が加味されてもよい。ランキングスコアは、上記のような統計値を集計する統計事業者によって提供される。したがって、取得部 1 1 は、統計事業者が運用するサーバなどにアクセスすることにより、ランキングスコアを取得する。

【 0 0 2 1 】

また、取得部 1 1 は、ユーザの嗜好を推定するために、ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴を取得する。ここでいう「ユーザが視聴した放送コンテンツ」とは、ユーザが録画装置 2 に録画することなくテレビジョン受像機 3 でリアルタイムに視聴した放送コンテンツ、及び / 又は録画装置 2 に対してなされた録画予約された放送コンテンツ（つまり、過去に録画することが予約され、過去に放送された放送コンテンツ、又は、将来放送される予定の放送コンテンツ）を含む。

【 0 0 2 2 】

ここでいう「所定期間」は、ユーザの嗜好を推定するために十分な放送コンテンツが蓄積されるのに要する期間である。したがって、所定期間は、放送コンテンツの数によって決められた変動的な期間であってもよいし、統計的に十分な放送コンテンツが蓄積されると考えられる、1 日、1 週間、又は 1 か月などの固定的な期間であってもよい。

【 0 0 2 3 】

また、ここでいう「視聴履歴」は、放送コンテンツをユーザが視聴した回数、及び / 又は放送コンテンツをユーザが視聴した日時を含む。また、ここでいう「視聴履歴」は、例えば放送コンテンツがテレビジョン番組である場合、番組情報である E P G (Electronic Program Guide) 情報、及び / 又は S I (Service Information) 情報を含む。つまり、「視聴履歴」は、放送コンテンツの内容、視聴回数、及び / 又は視聴日時を含む。また、「放送コンテンツの内容」は、例えば放送コンテンツのジャンル、タイトル、出演者、声優、演出家、監督、原作者、又は製作者の名前等を含み得る。ジャンルは、例えばドキ

10

20

30

40

50

ュメンタリー、ニュース、バラエティ、ドラマ、又はアニメ等を含み得る。また、「放送コンテンツ」の内容には、放送コンテンツの内容を説明した文字列等が含まれ得る。さらに、「視聴履歴」には、放送コンテンツを検索する際にユーザが入力したキーワード、及び／又は放送コンテンツに対するユーザの評価等が含まれ得る。

【 0 0 2 4 】

実施の形態では、ユーザが視聴した放送コンテンツの視聴履歴は、ユーザがテレビジョン受像機 3 で放送コンテンツをリアルタイムに視聴する際に、又はユーザが録画装置 2 に録画予約のための入力を行う際に、図示しない記憶部に記憶される。したがって、実施の形態では、取得部 1 1 は、記憶部から視聴履歴を読み出すことにより、視聴履歴を取得する。

10

【 0 0 2 5 】

嗜好出力部 1 3 は、取得部 1 1 が取得した視聴履歴に基づいて、ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する。視聴者における複数種類の嗜好のそれぞれに対応する複数種類の嗜好タグの中から前記ユーザの嗜好に応じて選択される 1 以上の嗜好タグを含む。すなわち、嗜好情報としては、複数ある嗜好タグの中から、ユーザの好みに適合する嗜好タグが抽出されて保持される。嗜好タグは、情報処理装置 1 0 0 を利用したユーザの嗜好推定に合わせて適切な複数の種類が設定されていればよい。ここでは、嗜好タグは、上記した放送コンテンツのジャンル（ドキュメンタリー、ニュース、バラエティ、ドラマ、又はアニメ等を含む）に相当する情報であるものとして説明する。なお、嗜好出力部 1 3 によって出力された嗜好情報が、記憶部に格納されている場合、ユーザの視聴履歴から嗜好情報を生成する必要はない。この場合、嗜好出力部 1 3 は、単に、記憶部から生成済みの嗜好情報を読み出して出力すればよい。

20

【 0 0 2 6 】

評価部 1 5 は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する。嗜好情報には、上記したように複数種類の嗜好タグの中からユーザの嗜好に応じて選択される 1 以上の嗜好タグを含んでおり、評価部 1 5 は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれに対してあらかじめ付与された 1 以上の嗜好タグと、嗜好情報に含まれる 1 以上の嗜好タグとの一致度に基づいて、当該対象放送コンテンツの嗜好スコアを付与する。

【 0 0 2 7 】

対象放送コンテンツに対する嗜好タグの付与は、タグ付与装置 1 5 0 によって行われる。タグ付与装置 1 5 0 は、放送コンテンツに対して、嗜好タグを付与する装置である。実施の形態では、タグ付与装置 1 5 0 によって嗜好タグを付与して、情報処理装置 1 0 0 の処理に利用する例を説明するが、嗜好タグは、外部の事業者（例えば、放送コンテンツの配給事業者）によって付与されてもよい。タグ付与装置 1 5 0 は、プロセッサと、メモリと、当該メモリに記憶されたプログラムとによって実現される処理部である。

30

【 0 0 2 8 】

タグ付与装置 1 5 0 はあらかじめ設定された嗜好タグの種類のそれぞれに対応する学習により学習させた A I モデルを含む。例えば、2 0 種類の嗜好タグが設定された場合、タグ付与装置 1 5 0 は、2 0 種類の嗜好タグのそれぞれに対応する 2 0 個の A I モデルを含む。タグ付与装置 1 5 0 は、放送コンテンツの E P G 情報及び S I 情報等の入力を受け付ける。そして、タグ付与装置 1 5 0 は、受け付けた E P G 情報及び S I 情報等を各 A I モデルに順次又は並行して入力することで、この E P G 情報及び S I 情報等を有する放送コンテンツが、各 A I モデルに設定された 1 つの嗜好タグを付与するか否かの情報を出力する。タグ付与装置 1 5 0 は、A I モデルから出力された結果に基づいて、当該放送コンテンツに付与すべき嗜好タグを付与する。

40

【 0 0 2 9 】

その後、評価部 1 5 は、タグ付与装置 1 5 0 から出力された嗜好タグが付与された後の対象放送コンテンツの情報を取得する。評価部 1 5 は、嗜好情報をもとに、対象放送コンテンツに付与された嗜好タグと、嗜好情報における嗜好タグとの一致度を算出する。評価

50

部 1 5 は、例えば、算出した一致度が高い対象放送コンテンツに高い嗜好スコアを付与し、算出した一致度が低い対象放送コンテンツに低い嗜好スコアを付与する。

【 0 0 3 0 】

順序出力部 1 7 は、ランキングスコアと嗜好スコアとに基づいて、ユーザの嗜好に沿う複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する。順序出力部 1 7 の詳細については、情報処理装置 1 0 0 の動作と共に後述する。

【 0 0 3 1 】

コンテンツ記憶装置 2 0 0 は、放送コンテンツを記憶するための装置であり、半導体メモリ等によって実現される。コンテンツ記憶装置 2 0 0 には、例えば、地上波放送によって同時に放送されている放送コンテンツをすべて録画して記憶する。ユーザは、コンテンツ記憶装置 2 0 0 に記憶された放送コンテンツの中から、任意の放送コンテンツを選択して視聴することができる。

10

【 0 0 3 2 】

提示装置 3 0 0 は、順序出力部 1 7 によって出力された順序に関する情報に基づいて対象放送コンテンツを読み出して、テレビジョン受像機 3 のディスプレイ上で対象放送コンテンツのリストを列挙する等により、ユーザの嗜好に適合した順序で対象放送コンテンツを提示する。提示装置 3 0 0 は、例えば、コンテンツ記憶装置 2 0 0 から放送コンテンツの情報を読み出すコントローラと、ディスプレイ上に投影するための変換を行うデコーダとを含む。

【 0 0 3 3 】

20

提示装置 3 0 0 に、順序出力部 1 7 によって出力された順序に従って選択された、ユーザに提示するための 1 以上の対象放送コンテンツが提示される際に、選択された放送コンテンツと共に、当該放送コンテンツの内容に関する情報と、当該放送コンテンツのランキングスコアに関する情報と、当該放送コンテンツに付与された嗜好タグのタグ情報であって、ユーザの嗜好情報との間で一致する嗜好タグのタグ情報と、を含む画像が提示されるようにしてもよい。この場合、提示装置 3 0 0 によって提示される画像は、図示化部 1 9 によって生成される。図示化部 1 9 は、選択された対象放送コンテンツと、当該対象放送コンテンツの内容に関する情報、ランキングスコア、及び、タグ情報とをまとめて、一見しただけでこれらの情報が把握できるような画像を生成する。

【 0 0 3 4 】

30

図 7 は、図示化部 1 9 により生成された画像が提示装置 3 0 0 によって提示された場合の表示画面の一例を示したものである。コンテンツ記憶装置 2 0 0 から対象放送コンテンツの内容を表す画像の情報と、対象放送コンテンツの内容を示す文章情報が提示されている。ここでの文章情報は、対象放送コンテンツに付帯する E P G 情報、及び / 又は S I 情報を利用してよい。また、対象放送コンテンツをレコメンドする根拠としてランキングスコアから逆算されたランキング順位と、順序がランキング順位と異なることの理由として、対象放送コンテンツと嗜好情報との間で一致する嗜好タグがアイコンとして表示される。かかる表示を行うことで、ユーザは、対象放送コンテンツがレコメンドされる根拠となった自分の嗜好情報を確認できるので、対象放送コンテンツを視聴する動機付けを得ることができる。

40

【 0 0 3 5 】

[2 . 動作]

以上のように構成された情報処理装置 1 0 0 の動作について、以下図 2 ~ 図 5 を用いて説明する。図 2 は、実施の形態における情報処理装置の処理の一例を示すフローチャートである。

【 0 0 3 6 】

まず、取得部 1 1 は、ネットワーク等を介して外部のサーバにアクセスすることにより、対象放送コンテンツのランキングスコアを取得する（取得ステップ S 1 0 1）。このとき、取得部 1 1 は、あらかじめコンテンツ記憶装置 2 0 0 内を参照することにより、コンテンツ記憶装置 2 0 0 内に記憶されている対象放送コンテンツのインデックスを作成して

50

おく。そして、インデックス上の各対象放送コンテンツについて、ランキングスコアを取得し、インデックス内に対象放送コンテンツそれぞれのランキングスコアを追記する。

【 0 0 3 7 】

次に、取得部 1 1 は、記憶部からユーザの視聴履歴を取得する（ステップ S 1 0 2）。嗜好出力部 1 3 は、取得部が取得したユーザの視聴履歴に基づいて、嗜好情報を算出して出力する（嗜好出力ステップ S 1 0 3）。

【 0 0 3 8 】

次に、評価部 1 5 は、対象放送コンテンツのそれぞれに嗜好スコアを付与する（評価ステップ S 1 0 4）。具体的には、評価部 1 5 はインデックス上の対象放送コンテンツを順次タグ付与装置 1 5 0 に入力して嗜好タグを付与させる。また、評価部 1 5 は、嗜好出力部 1 3 から出力された嗜好情報を得て、嗜好情報に含まれるユーザの嗜好に沿った嗜好タグを読み出す。そして、嗜好タグが付与された対象放送コンテンツについて、嗜好情報に含まれる嗜好タグとの一致度を算出する。評価部 1 5 は、核対象放送コンテンツでの算出結果に基づいて、当該対象放送コンテンツに対する嗜好スコアを付与する。ここで、図 3 は、実施の形態において放送コンテンツに付与される嗜好スコアの一例を説明する図である。図 3 では、第 1 行に嗜好タグの種類（タグ A、タグ B、・・・）を、第 1 列に対象放送コンテンツの識別番号（コンテンツ 1、コンテンツ 2、・・・）をそれぞれ示し、対応するセルに当該対象放送コンテンツにおいて、当該嗜好タグが付与されているか否かを示す数値が示されている。図 3 の例では、嗜好タグが付与されていることを示す「1」（第 1 値の一例）、及び嗜好タグが付与されていないことを示す「0」（第 2 値の一例）として嗜好タグの付与の有無が表現されている。例えば、コンテンツ 1 には、タグ A の嗜好タグが付与されており、タグ B、タグ C 及びタグ D の嗜好タグが付与されていない。

【 0 0 3 9 】

このとき、タグ A、タグ B、タグ C が含まれ、タグ D が含まれない嗜好情報を有するユーザがいたと仮定する。このユーザにおいては、嗜好タグが一致するコンテンツ 4 の嗜好スコアが最も高くなる。また、タグ A 及びタグ B が一致するコンテンツ 2、ならびに、タグ B 及びタグ C が一致するコンテンツ 3 では、嗜好情報に含まれないタグ D の有無により、コンテンツ 2 の方が一致度が高く、これに応じた嗜好スコアが付与される。そして、コンテンツ 1 の一致度が最も低く、最も低い嗜好スコアが付与される。

【 0 0 4 0 】

また、付与される嗜好スコアは、単に複数の対象放送コンテンツ内での一致度の順位に応じたスコアであってもよいし、嗜好タグごとに一致度の加減点がされて演算結果がそのまま嗜好スコアとして出力されてもよい。この場合、減点ばかりとなった（一致度が低い）対象放送コンテンツの嗜好スコアが負の数値となる場合もある。

【 0 0 4 1 】

図 2 の説明に戻り、順序出力部 1 7 は、ランキングスコアと、嗜好スコアとの双方に基づいて、順序に関する情報を出力する（順序出力ステップ S 1 0 5）。順序出力部 1 7 による順序に関する情報の出力例を以下に説明する。

【 0 0 4 2 】

[2 - 1 . 出力例 1]

図 4 は、実施の形態において出力される順序に関する情報の一例を説明する図である。図 4 では、第 1 行にスコアの種別を、第 1 列に対象放送コンテンツの識別番号をそれぞれ示し、対応するセルに当該対象放送コンテンツにおいて、当該スコアとして付与されている数値が示されている。図 4 に示すように、コンテンツ 1 が最もランキングスコアの高い（ランキング順位が高い）コンテンツであり、コンテンツ 2、コンテンツ 3、コンテンツ 4、コンテンツ 5 の順に続いている。

【 0 0 4 3 】

すなわち、図 4 の第 2 列に示す通り、図 4 は、ランキングスコアが高い順に並べた複数の対象放送コンテンツの順序を示している。また、図 4 に示すように、コンテンツ 3 が最も嗜好スコアの高い（ユーザの嗜好情報に一致している）コンテンツであり、コンテンツ

2、コンテンツ5、コンテンツ1、コンテンツ4の順に続いている。

【0044】

この例では順序出力部17は、ランキングスコアと嗜好スコアとを加算することにより、総合スコアを算出し、総合スコアが高い順序で複数の対象放送コンテンツが並ぶような順序に関する情報を出力する。例えば、順序出力部17は、総合スコアを出力する。そして、提示装置300は、図4の例では、コンテンツ3、コンテンツ2、コンテンツ1、コンテンツ5、コンテンツ4の順となるように複数の対象放送コンテンツを提示する。

【0045】

なお、総合スコアの算出方法は、上記の他に、ランキングスコアを重視するか、嗜好スコアを重視するかに応じた重み係数を、それぞれのスコア値に乘じたうえで加算して算出するようにしてもよい。また、加算の代わりに、ランキングスコアに嗜好スコアを乗算して総合スコアを算出してもよい。総合スコアの算出方法は、あらかじめ情報処理装置100に対して設定されていてもよいし、ユーザが手動で切り替え可能なようにしてもよい。例えば、提示される順序に対して、ユーザに提示されている順序とは異なる順序にするための「別の順序で表示しますか？」などの質問を表示し、これにYesの返答を入力すると、重み係数が異なる、又は乗算による総合スコアの算出方法が適用されて、別の順序に関する情報が出力される。

【0046】

[2-2. 出力例2]

図5は、実施の形態において出力される順序に関する情報の別の一例を説明する図である。図5では、第1行にスコアの種別を、第1列に対象放送コンテンツの識別番号をそれぞれ示し、対応するセルに当該対象放送コンテンツにおいて、当該スコアとして付与されている数値が示されている。図5に示すように、コンテンツ1が最もランキングスコアの高い(ランキング順位が高い)コンテンツであり、コンテンツ2、コンテンツ3、コンテンツ4、コンテンツ5の順に続いている。また、図5に示すように、コンテンツ3が最も嗜好スコアの高い(ユーザの嗜好情報に一致している)コンテンツであり、コンテンツ2、コンテンツ5、コンテンツ1、コンテンツ4の順に続いている。

【0047】

この例では順序出力部17は、ランキングスコアが高い順に並べた前記複数の対象放送コンテンツの順序のうち、前記嗜好スコアが第1閾値よりも高い対象放送コンテンツの順序を、元の順序よりも高い順序となるように更新し、嗜好スコアが第2閾値よりも低い対象放送コンテンツの順序を、元の順序よりも低い順序となるように更新することで、更新後の順序に関する情報を出力する。

【0048】

例えば、順序出力部17は、嗜好スコアを第1閾値及び第2閾値と比較する。そして、嗜好スコアが第1閾値よりも高い対象放送コンテンツ(図中の太線矩形内)の順位をもとの順位よりも繰り上げるように順位情報を更新する。また、嗜好スコアが第2閾値よりも低い対象放送コンテンツ(図中の太破線矩形内)の順位をもとの順位よりも繰り下げないように順位情報を更新する。この処理を、すべての対象放送コンテンツに対して行うことで、順序出力部17は、更新後の順序に関する情報を出力する。そして、提示装置300は、図5の例では、コンテンツ3、コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ5、コンテンツ4の順となるように複数の対象放送コンテンツを提示する。

【0049】

なお、第1閾値よりも高い対象放送コンテンツの順位の繰り上げ方はどのようなであってもよい。例えば、第1閾値よりも高い対象放送コンテンツの順位をもとの順位の1つ上、2つ上、又は3つ上などの元の順位から固定的な位数を繰り上げた順位としてもよいし、第1閾値よりも高い対象放送コンテンツの順位を最高位の順位としてもよい。同様に、第2閾値よりも低い対象放送コンテンツの順位の繰り下げ方はどのようなであってもよい。例えば、第2閾値よりも低い対象放送コンテンツの順位をもとの順位の1つ下、2つ下、又は3つ下などの元の順位から固定的な位数を繰り上げた順位としてもよいし、第2閾値よ

10

20

30

40

50

りも低い対象放送コンテンツの順位を最低位の順位としてもよい。

【 0 0 5 0 】

なお、2つ以上の閾値を用いて放送コンテンツの順位の繰り上げを行ったり、2つ以上の第1閾値を用いて放送コンテンツの順位の繰り下げを行ってもよい。以下の説明では、2つの第1閾値のうち、嗜好スコアが高い方の閾値を第3閾値とし、嗜好スコアが低い方の閾値を第4閾値として説明する。例えば、嗜好スコアが第3閾値よりも高い放送コンテンツの順位をもとの順位よりも3つ繰り上げるように順位情報を更新する。また、嗜好スコアが第4閾値よりも高い放送コンテンツの順位をもとの順位よりも1つ繰り上げるように順位情報を更新してもよい。図6を用いて一例を説明する。図6は、実施の形態において出力される順序に関する情報のさらに別の一例を説明する図である。

10

【 0 0 5 1 】

図6の例では、第3閾値を6.5に、第4閾値を4.5に設定した場合を示している。コンテンツ4（図中の太線矩形内）の嗜好スコアが第3閾値より大きいので、順位を3つ繰り上げて、コンテンツ4、コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3、コンテンツ5、コンテンツ6、コンテンツ7、コンテンツ8、コンテンツ9、及びコンテンツ10の順に入れ替える。次に、コンテンツ6（図中の太破線矩形内）の嗜好スコアが第4閾値より大きいので、順位を1つ繰り上げて、コンテンツ4、コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3、コンテンツ6、コンテンツ5、コンテンツ7、コンテンツ8、コンテンツ9、及びコンテンツ10の順に入れ替えて順位情報を更新する。このように、図6の例では第3閾値による順位の入れ替え操作を行った後に、第4閾値による順位の入れ替え操作を行った場合の複数の対象放送コンテンツの提示結果を示した。複数の閾値を用いた放送コンテンツの順位の入れ替え操作では、例えば、第4閾値を用いて順位を入れ替えた後に第3閾値を用いて順位を入れ替えて、順位情報の更新を行ってもよい。

20

【 0 0 5 2 】

なお、上記した内容を利用し、複数の放送コンテンツの順位を複数の閾値を用いて行うこともできる。また、複数の閾値を用いることは、第2閾値についても同様に適用することができる。すなわち、2つの第2閾値のうち、嗜好スコアが高い方の閾値を第5閾値とし、嗜好スコアが低い方の閾値を第6閾値とした場合に、嗜好スコアが第5閾値よりも低い放送コンテンツの順位をもとの順位よりも3つ繰り下げるように順位情報を更新し、嗜好スコアが第6閾値よりも低い放送コンテンツの順位をもとの順位よりも1つ繰り下げるように順位情報を更新してもよい。

30

【 0 0 5 3 】

以上のようにして、通常のランキングスコアに応じた順位とも、単純なユーザの嗜好情報とも異なる、これらを組み合わせた順位で、対象放送コンテンツが提示される。なお、提示される対象放送コンテンツの数は固定されていてもよい。例えば、コンテンツ記憶装置200には膨大な数の放送コンテンツが記憶されていることがある。このとき、提示される順序が最低位となるような放送コンテンツをユーザが選択する可能性は、かなり低いので、この放送コンテンツを候補である対象放送コンテンツから除外してもよい。例えば、コンテンツ記憶装置200に記憶された放送コンテンツのうち、ランキングスコアが上位の所定数のもののみが対象放送コンテンツに設定され、それよりも低位の放送コンテンツは、対象放送コンテンツと設定されないようにしてもよい。

40

【 0 0 5 4 】

このようにして、本実施の形態における情報処理装置100及びその情報処理システムでは、ランキングスコアに沿いながらも、よりユーザの嗜好に沿った放送コンテンツの提示をすることができる。

【 0 0 5 5 】

（変形例）

以上のように、本出願において開示する技術の例示として、実施の形態を説明した。しかしながら、本開示における技術は、これに限定されず、適宜、変更、置き換え、付加、省略等を行った実施の形態にも適用可能である。また、上記実施の形態で説明した各構成

50

要素を組み合わせ、新たな実施の形態とすることも可能である。

【 0 0 5 6 】

そこで、以下、実施の形態の変形例を例示する。

【 0 0 5 7 】

例えば、上記実施の形態では、情報処理装置 1 0 0、単一の装置として実現されたが、複数の装置によって実現されてもよい。情報処理装置 1 0 0 が複数の装置によって実現される場合、情報処理装置 1 0 0 が備える構成要素は、複数の装置にどのように振り分けられてもよい。つまり、本開示は、クラウドコンピューティングによって実現されてもよいし、エッジコンピューティングによって実現されてもよい。

【 0 0 5 8 】

また、例えば、上記実施の形態において、本開示における情報処理装置 1 0 0 の構成要素の全部又は一部は、専用のハードウェアで構成されてもよく、或いは、各構成要素に適したソフトウェアプログラムを実行することによって実現されてもよい。各構成要素は、CPU (Central Processing Unit) 又はプロセッサ等のプログラム実行部が、HDD (Hard Disk Drive) 又は半導体メモリ等の記録媒体に記録されたソフトウェアプログラムを読み出して実行することによって実現されてもよい。

【 0 0 5 9 】

また、本開示における情報処理装置 1 0 0 の構成要素は、1 つ又は複数の電子回路で構成されてもよい。1 つ又は複数の電子回路は、それぞれ、汎用的な回路でもよいし、専用の回路でもよい。

【 0 0 6 0 】

1 つ又は複数の電子回路には、例えば、半導体装置、IC (Integrated Circuit) 又はLSI (Large Scale Integration) 等が含まれてもよい。IC 又はLSI は、1 つのチップに集積されてもよく、複数のチップに集積されてもよい。ここでは、IC 又はLSI と呼んでいるが、集積の度合いによって呼び方が変わり、システムLSI、VLSI (Very Large Scale Integration)、又は、ULSI (Ultra Large Scale Integration) と呼ばれるかもしれない。また、LSI の製造後にプログラムされるFPGA (Field Programmable Gate Array) も同じ目的で使うことができる。

【 0 0 6 1 】

また、本開示の全般的又は具体的な態様は、システム、装置、方法、集積回路又はコンピュータプログラムで実現されてもよい。或いは、当該コンピュータプログラムが記憶された光学ディスク、HDD 若しくは半導体メモリ等のコンピュータ読み取り可能な非一時的な記録媒体で実現されてもよい。例えば、本開示は、上記実施の形態における制御方法をコンピュータによって実行させるためのプログラムとして実現されてもよい。また、このプログラムは、コンピュータ読み取り可能なCD - ROM等の非一時的な記録媒体に記録されてもよいし、インターネット等の通信路で配信されてもよい。

【 0 0 6 2 】

以上のように、本開示における技術の例示として、実施の形態を説明した。そのために、添付図面及び詳細な説明を提供した。

【 0 0 6 3 】

したがって、添付図面及び詳細な説明に記載された構成要素の中には、課題解決のために必要な構成要素だけでなく、上記技術を例示するために、課題解決のためには必須でない構成要素も含まれ得る。そのため、それらの必須ではない構成要素が添付図面や詳細な説明に記載されていることをもって、直ちに、それらの必須ではない構成要素が必須であるとの認定をするべきではない。

【 0 0 6 4 】

また、上述の実施の形態は、本開示における技術を例示するためのものであるから、請求の範囲又はその均等の範囲において種々の変更、置き換え、付加、省略等を行うことが

10

20

30

40

50

できる。

【 0 0 6 5 】

(まとめ)

以上述べたように、実施の形態における第1態様の情報処理装置100は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づいて複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付されたランキングスコアを取得する取得部11と、ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴に基づいて、ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する嗜好出力部13と、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する評価部15と、ランキングスコアと嗜好スコアとに基づいて、ユーザの嗜好に沿う複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する順序出力部17と、を備える。

10

【 0 0 6 6 】

このような情報処理装置100は、対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づくランキングスコアに応じた順位とも、単純なユーザの嗜好に基づく嗜好スコアに応じた順位とも異なる、これらを組み合わせた順序に関する順序情報を出力することができる。すなわち、本実施の形態における情報処理装置100では、ランキングスコアに沿いながらも、よりユーザの嗜好に沿った対象放送コンテンツの提示をすることを可能にする対象放送コンテンツの提示順序に関する順序情報を出力することができる。したがって、情報処理装置100は、よりユーザの嗜好に沿った放送コンテンツの提示をしやすい、という利点がある。

20

【 0 0 6 7 】

また、例えば、第2態様の情報処理装置100は、嗜好情報が、視聴者における複数種類の嗜好のそれぞれに対応する複数種類の嗜好タグの中からユーザの嗜好に応じて選択される1以上の嗜好タグを含み、評価部15は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれに対して付与された1以上の嗜好タグと、嗜好情報に含まれる1以上の嗜好タグとの一致度に基づいて、当該対象放送コンテンツの嗜好スコアを付与する、第1態様に記載の情報処理装置100であるしてもよい。

【 0 0 6 8 】

これによれば、対象放送コンテンツに付与された嗜好タグと、ユーザの嗜好に沿う嗜好タグとの一致度によって、対象放送コンテンツがユーザの嗜好に沿うか否かの嗜好スコアが付与される。そして、嗜好スコアの大小によって対象放送コンテンツのユーザの嗜好に沿う程度を比較することができる。

30

【 0 0 6 9 】

また、例えば、第3態様の情報処理装置100は、出力された複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報に従って選択された、ユーザに提示するための1以上の対象放送コンテンツと共に、当該対象放送コンテンツの内容に関する情報と、取得された当該対象放送コンテンツのランキングスコアに関する情報と、当該放送コンテンツに付与された嗜好タグのタグ情報であって、ユーザの嗜好情報との間で一致するタグ情報と、を含む画像を生成する図示化部19を備える、第2態様に記載の情報処理装置100である。

【 0 0 7 0 】

これによれば、放送コンテンツと共に提示することが可能な、当該放送コンテンツの内容に関する情報と、当該放送コンテンツに対して付与されたランキングスコアと、当該放送コンテンツに付与された嗜好タグのタグ情報であって、ユーザの嗜好情報との間で一致するタグ情報と、を含む画像を生成することができる。つまり、ユーザが一見しただけで、これらの情報、すなわち、どのようにして提示されている対象放送コンテンツの順序が決定されたのかを把握することができる。

40

【 0 0 7 1 】

また、例えば、第4態様の情報処理装置100は、順序出力部17が、ランキングスコアが高い順に並べた複数の対象放送コンテンツの順序のうち、嗜好スコアが第1閾値よりも高い対象放送コンテンツの順序を、元の順序よりも高い順序となるように更新する、第

50

1～第3態様のいずれか1態様に記載の情報処理装置100である。

【0072】

これによれば、第1閾値よりも高く、比較的ユーザの嗜好に沿うと考えられる嗜好スコアが付与された対象放送コンテンツの順序がより高位の順序となるように順序情報が更新される。このため、ユーザには、高位に提示された嗜好に沿いやすい当該対象放送コンテンツを選択しやすいという利点がある。なお、第1閾値は、ユーザごとに固有の閾値である場合がほとんどであるため、例えば、実験的又は経験的に設定されればよい。

【0073】

また、例えば、第5態様の情報処理装置100は、順序出力部17が、ランキングスコアが高い順に並べた複数の対象放送コンテンツの順序のうち、嗜好スコアが第2閾値よりも低い対象放送コンテンツの順序を、元の順序よりも低い順序となるように更新する、第1～第4態様のいずれか1態様に記載の情報処理装置100である。

10

【0074】

これによれば、第2閾値よりも低く、比較的ユーザの嗜好に沿わないと考えられる嗜好スコアが付与された対象放送コンテンツの順序がより低位の順序となるように順序情報が更新される。このため、ユーザには、低位に提示された嗜好に沿いにくい当該対象放送コンテンツが選択しにくくなり、当該対象放送コンテンツとは異なる対象放送コンテンツであって、ユーザの嗜好に沿いやすい対象放送コンテンツを相対的に選択しやすくなる、という利点がある。なお、第1閾値は、ユーザごとに固有の閾値である場合がほとんどであるため、例えば、実験的又は経験的に設定されればよい。

20

【0075】

また、例えば、第6態様の情報処理装置100は、記順序出力部17が、ランキングスコアと嗜好スコアとに基づいて、総合スコアを算出し、算出した総合スコアが高い順に並べた複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する、第1～第3態様のいずれか1態様に記載の情報処理装置100である。

【0076】

これによれば、ランキングスコアと嗜好スコアとを演算して算出される総合スコアによって、複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力することができる。

【0077】

また、例えば、第7態様の情報処理装置100は、総合スコアが、ランキングスコアに嗜好スコアを加算して算出される、第6態様に記載の情報処理装置100である。

30

【0078】

これによれば、ランキングスコアと嗜好スコアとを加算して算出される総合スコアによって、複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力することができる。

【0079】

また、例えば、第8態様の情報処理装置100は、総合スコアが、ランキングスコアに嗜好スコアを乗じて算出される、第6態様に記載の情報処理装置100である。

【0080】

これによれば、ランキングスコアと嗜好スコアとを乗算して算出される総合スコアによって、複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力することができる。

40

【0081】

また、実施の形態における第9態様の情報処理方法は、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの視聴回数に基づいて複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付されたランキングスコアを取得する取得ステップと、ユーザが過去の所定期間内において視聴した放送コンテンツの視聴履歴に基づいて、ユーザの放送コンテンツに対する嗜好に関する嗜好情報を出力する嗜好出力ステップと、複数の対象放送コンテンツのそれぞれの嗜好情報に対する適合度を示す嗜好スコアを複数の対象放送コンテンツのそれぞれに付与する評価ステップと、ランキングスコアと嗜好スコアとに基づいて、ユーザの嗜好に沿う複数の対象放送コンテンツの順序に関する情報を出力する順序出力ステップと、を含む。

【0082】

50

これによれば、上記に記載の情報処理装置 1 0 0 と同様の効果を奏することができる。

【 0 0 8 3 】

また、実施の形態における第 1 0 態様のプログラムは、1 以上のプロセッサに上記の第 9 態様に記載の情報処理方法を実行させる。

【 0 0 8 4 】

これによれば、1 以上のプロセッサが上記に記載の情報処理方法を実行することで、上記に記載の情報処理装置 1 0 0 と同様の効果を奏することができる。

【産業上の利用可能性】

【 0 0 8 5 】

本開示は、ユーザが視聴した放送コンテンツの視聴履歴からユーザの嗜好を推定するためのシステム等に適用可能である。

10

【符号の説明】

【 0 0 8 6 】

- 2 録画装置
- 3 テレビジョン受像機
- 1 1 取得部
- 1 3 嗜好出力部
- 1 5 評価部
- 1 7 順序出力部
- 1 9 図示化部
- 1 0 0 情報処理装置
- 1 5 0 タグ付与装置
- 2 0 0 コンテンツ記憶装置
- 3 0 0 提示装置

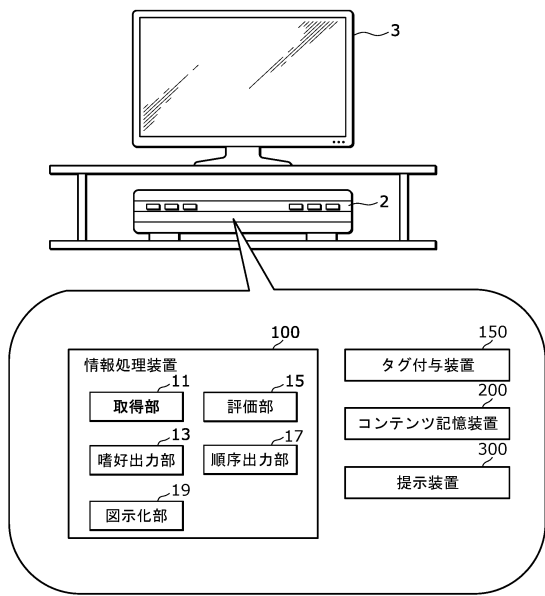
20

30

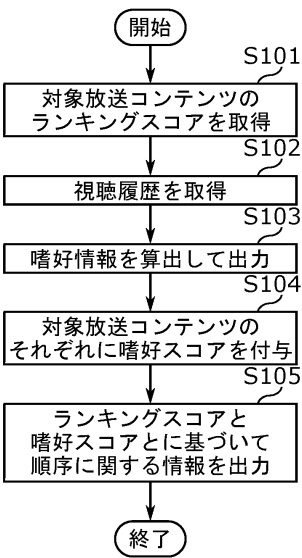
40

50

【図面】
【図 1】



【図 2】



【図 3】

	タグA	タグB	タグC	タグD	...
コンテンツ 1	1	0	0	0	
コンテンツ 2	1	1	0	0	
コンテンツ 3	0	1	1	1	
コンテンツ 4	1	1	1	0	
⋮					

【図 4】

	ランキング スコア	嗜好 スコア	総合 スコア
コンテンツ 1	10 (1位)	4	14
コンテンツ 2	9 (2位)	6	15
コンテンツ 3	8 (3位)	8	16
コンテンツ 4	7 (4位)	3	10
コンテンツ 5	6 (5位)	5	11
⋮			

10

20

30

40

50

【 図 5 】

	ランキング スコア	嗜好 スコア	更新後 順位
コンテンツ 1	10 (1位)	4	2位
コンテンツ 2	9 (2位)	6	3位
コンテンツ 3	8 (3位)	8	1位
コンテンツ 4	7 (4位)	3	5位
コンテンツ 5	6 (5位)	5	4位
⋮			

第 1 閾値 : 7.5
第 2 閾値 : 3.5

【 図 6 】

	ランキング スコア	嗜好 スコア	更新後 順位
コンテンツ 1	20 (1位)	3	2位
コンテンツ 2	19 (2位)	3	3位
コンテンツ 3	18 (3位)	4	4位
コンテンツ 4	17 (4位)	7	1位
コンテンツ 5	16 (5位)	4	6位
コンテンツ 6	15 (6位)	5	5位
コンテンツ 7	14 (7位)	4	7位
コンテンツ 8	13 (8位)	3	8位
コンテンツ 9	12 (9位)	4	9位
コンテンツ 1 0	11 (10位)	3	10位
⋮			

第 3 閾値 : 6.5
第 4 閾値 : 4.5

【 図 7 】

あなたへのおすすめ		ランキング 第2位
	屋顔 第 1 話【屋顔らは事件に遭遇する】 朝顔署強行犯係の森本が、顔に傷の痕がある男に刺され、血まみれの状態で発見される。そこへ……	タグA
	大人の秘書 第 1 話【剛断経営者の黒い金】 佐々木が経営者を務める代理店は寝殿を振るい契約を結ぶことで知られていた。契約先の部長が更迭される事件が発生し、……	ランキング 第1位 タグB
	兄貴の恋人 第 1 話【告白の返事は？】 1 0 年前の交通事故で両親を亡くした浅野家では、兄の正和が進学をあきらめて妹の直美を支えてきた。そんな正和に恋人が現れた。	ランキング 第3位 タグB
	婚活パーティー 第 1 話【SNS恋愛の悲劇】 結婚願望が高い女友達の明菜と順子は、同じ婚活パーティーに参加した。そこで明菜は理想の男性に出会ったのだが、順子はその男性を見たことがあった。	ランキング 第5位 タグC
	恋は楽しく 第 1 話【ツンデレ王子】 小百合には 6 年付き合っている本郎という恋人がいる。なかなか本音を聞き出せないでいた。そんなある時……	ランキング 第4位 タグD

10

20

30

40

50

フロントページの続き

- (72)発明者 上坂 靖
日本国大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 パナソニック株式会社内
- (72)発明者 岡崎 成吾
日本国大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 パナソニック株式会社内
- (72)発明者 六日市 正弘
日本国大阪府守口市八雲東町一丁目 1 0 番 1 2 号 パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション株式会社内
- 審査官 鈴木 順三
- (56)参考文献 特開 2 0 1 9 - 5 3 6 6 7 (J P , A)
特開 2 0 1 2 - 1 0 1 9 3 (J P , A)
特開 2 0 0 8 - 7 0 9 5 9 (J P , A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl. , D B 名)
H 0 4 N 2 1 / 0 0 - 2 1 / 8 5 8